

博士論文（要約）

論文題目 批判に対する統合失調症的認知バイアスの神経基盤

氏 名 岩白 訓周

論文の内容の要旨

論文題目 批判に対する統合失調症的認知バイアスの神経基盤

氏名 岩白訓周

統合失調症とは特徴的な被害関係妄想や幻聴を呈する精神疾患である。一般人口の約 0.7%が罹患する頻度の高い疾患であり、かつ思春期から青年期という人生早期に発症し、慢性的な経過をたどるため、この疾患による社会的・経済的損失は甚大である。病態は不明な点が多く特徴的な症状の1つである被害関係妄想の成因についても解明されていない点が多い。

本研究では被害関係妄想に関係する脅威刺激の認知障害と、統合失調症において重要とされる聴覚刺激処理の障害に着目した。統合失調症にとって脅威刺激となる批判的な音声を提示し、単語弁別を行う心理課題を開発した。機能的磁気共鳴画像撮像中に、この心理課題を実施し、批判的な音声に対する脳活動を検証した。(課題の詳細については未投稿のため不掲載)。統合失調症群および IQ、年齢、性別、利き手、両親の社会経済的背景のマッチした健常対照群を対象とした。

その結果、統合失調症群の被害関係妄想の成因に、批判的な音声に対する意味処理の障害が関連することが神経基盤レベルで示唆された。(詳細な結果およびその図表については雑誌投稿中のため不掲載)。